

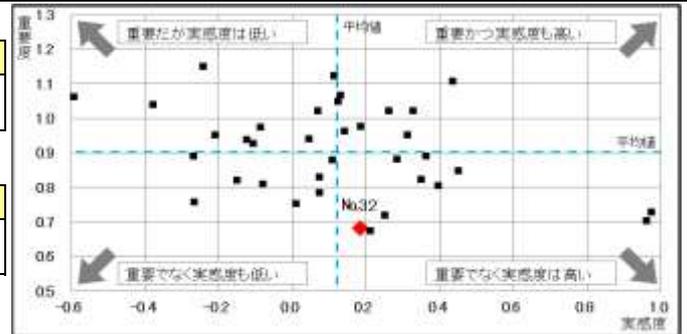
平成 28 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち
施策No.	32	施策名	文化の振興
主管課名	生涯学習・スポーツ課		
関係課名	埋没林博物館、図書館、水族博物館		

施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な芸術文化にふれる機会が多く、市民が活気と潤いに満ちています。 ・伝統文化が継承され、市民が郷土の伝統や文化に愛着と誇りを持っています。
---------------	--

施策の成果向上 に向けての住民 と行政との役割 分担や地域等へ の期待など	市 ・事業所 ・民	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に芸術文化活動に参加します。 ・市の歴史や伝統文化、文化財に関心を持ち将来に伝えていきます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化振興のため、発表会や優れた芸術活動の奨励に取り組みます。 ・伝統文化、文化財の保護・継承に努めます。
	その他 (地域)	

市民意識 調査結果	< 施策実感度調査結果 > ※26年度までは「満足度」				
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	0.154	0.128	0.126	0.190	0.185
	< 施策重要度調査結果 >				
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	0.448	0.462	0.350	0.685	0.681



施策の トータルコスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	13 (13)	13 (13)	12 (12)	12 (12)	11 (11)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	9 (9)	9 (9)	8 (8)	8 (8)	
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—					
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—					
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	124,108	101,207	96,325	94,597	
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	96,204	89,157	87,767	82,881	
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	27,904	12,050	8,558	11,716	
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—					
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—					
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	31	32	30	28	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	6,070	5,600	6,000	5,220	
	E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	26,702	23,486	26,292	21,825	
	F. トータルコスト (B+E)	千円	—	150,810	124,693	122,617	116,422	
効率性 指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	2,801	2,298	2,212	2,192	
	同上	円	—	603	533	604	506	
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	3,403	2,832	2,815	2,698	
	同上	円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	
参 考	I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	3,403	2,832	2,815	2,698	
	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036	43,555	43,152	

基本事業概要シート①

施策No.	32	施策名	文化の振興
基本事業名①	芸術文化活動の推進		
基本事業①の目的(意図)	芸術文化活動に数多く触れ、市民の誰もが心の潤いと心の豊かさを実感できます。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【音楽のまちづくり推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの森音楽祭15周年記念事業として、市民有志による市民合唱団を結成し、スペシャルコンサートを開催しました。また、公共施設での出前コンサートや小中学校での音楽指導を行いました。 <p>【新川文化ホール管理事業、新川文化ホール鑑賞事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と協議しながら、幅広い分野にわたりバランスのとれた鑑賞事業などを実施しました。 ・小学5・6年生、中学2年生を対象にした舞台芸術鑑賞会をそれぞれ実施しました。また、市内全中学生を対象に県立美術館所蔵作品の鑑賞会を実施しました。 <p>【芸術文化振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化団体などへの補助金交付を通じて、芸術文化活動を支援しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
芸術文化活動に触れる機会が多くあると思う市民の割合	%	24.2	32.5	27.7	36.0 29.4	37.0	38.0	39.0	40.0
新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館の自主企画事業の参加者数	人	57,441	44,094	46,727	50,000 40,125	55,000	60,000	65,000	70,000

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 音楽のまちづくり推進事業	2,930,000	2,904,949	25,051	B	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	◎ 新川文化ホール管理事業	84,662,000	83,829,680	832,320	B	生涯学習・スポーツ課
3	一般会計	新川文化ホール鑑賞事業	1,650,000	1,070,360	579,640	-	生涯学習・スポーツ課
4	一般会計	◎ 芸術文化振興事業	827,000	729,508	97,492	B	生涯学習・スポーツ課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			90,069,000	88,534,497	1,534,503		

基本事業概要シート②

施策No.	32	施策名	文化の振興
基本事業名②	地域の歴史や文化の保存・継承		
基本事業②の目的(意図)	郷土の文化財・伝統文化の保存活用に努めるとともに、市民の郷土を愛する意識を高めます。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【文化財保存事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「魚津のタテモン行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことから、祝賀セレモニー、記念講演・シンポジウムを開催しました。また、「魚津のタテモン行事」のボランティア協力隊の募集などを通じた支援を実施しました。 <p>【遺跡試掘調査事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松倉城跡の詳細調査(本丸跡の発掘調査など)及び市内遺跡(西布施地区)の詳細分布調査を実施しました。 ・松倉城本丸跡では、松倉小学校児童に発掘調査を体験してもらいました。また、松倉地区住民や、市民の皆さんへの調査結果報告会(講演会)を開催しました。 <p>【市史刊行・普及事業(市史編纂動物調査事業)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の市史自然編刊行のための動物調査などを実施しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に育まれた文化が豊かであると感じている市民の割合	%	37.8	56.2	53.7	59.0 58.6	61.0	64.0	67.0	70.0
たてもんボランティアの参加人数	人	200	308	310	360 320	370	380	390	400

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	文化財管理事業	1,179,000	603,214	575,786	-	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	◎文化財保護団体育成事業	1,113,000	989,520	123,480	B	生涯学習・スポーツ課
3	一般会計	埋蔵文化財調査室管理事業	223,000	179,486	43,514	-	生涯学習・スポーツ課
4	一般会計	◎遺跡試掘調査事業	4,129,000	3,356,826	772,174	B	生涯学習・スポーツ課
5	一般会計	◎文化財保存事業	7,350,000	6,946,248	403,752	B	生涯学習・スポーツ課
6	水族館事業特別会計	市史編纂動物調査事業	181,000	0	181,000	-	水族博物館
7	一般会計	市史編纂植物・地質調査事業	150,000	103,721	46,279	-	埋没林博物館
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			14,325,000	12,179,015	2,145,985		

施策評価結果シート

施策No.	32	施策名	文化の振興
-------	----	-----	-------

平成28年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p> <p>【①芸術文化活動の推進】 ◆芸術文化に触れる機会が多くあると感じる市民の割合は、前年度に比べて1.7ポイント増加し、29.4%になりました。 ◆新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館の自主事業の参加者は、前年度と比較して6,602人減少し、40,125人となりました。 ◆本市には、新川文化ホールと新川学びの森天神山交流館の文化施設があり、その中で行われている文化芸術活動は、近隣他市、同規模市と比較しても充実しています。</p> <p>【②地域の歴史や文化の保存・継承】 ◆郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に育まれた文化が豊かであると感じている市民の割合は、前年度に比べ4.9ポイント増加し、58.6%になりました。 ◆たてもんボランティア参加者数は、年々増加しています。平成28年度は320人で、前年度と比較して10人増加しました。</p>
	<p>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成28年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)</p> <p>【①芸術文化活動の推進】 ＜新川文化ホール鑑賞事業＞ ◆子どもたちの豊かな感性を育むために、小中学生に舞台芸術や美術を直接鑑賞する機会を提供しました。(小学5・6年生及び中学2年生の舞台芸術鑑賞会、全中学生の美術鑑賞会) ＜芸術文化振興事業＞ ◆文化芸術団体の活動助成や、新川文化ホール展示ホール及びミラージュギャラリーにおける市美協会員展の開催支援は、市民の芸術文化活動の充実につながります。</p> <p>【②地域の歴史や文化の保存・継承】 ＜文化財保存事業＞ ◆「魚津のタテモン行事」のユネスコ無形文化遺産登録及びこれに伴う祝賀セレモニー、記念講演・シンポジウムの開催により、文化財の保存・継承に対する市民の関心が高まりました。</p>
	<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p> <p>【①芸術文化活動の推進】 ◆新川文化ホールや学びの森交流館で開催するコンサートや企画展については、指定管理者と協議しながら幅広い市民の要望を取り入れた内容となることを重視しており、成果指標である参加者数の増加に結びついていません。今後も多くの住民(新川地区)の皆さんに来館していただけるよう、幅広い分野の魅力ある企画事業をバランスよく実施します。</p> <p>【②地域の歴史や文化の保存・継承】 ◆平成29年度においても松倉城跡の発掘調査を実施し、平成30年度に作成する報告書で学術的な価値を明らかにしていきます。また、小学校児童の発掘体験や松倉地区及び市民向けの報告会を継続して実施します。 ◆「タテモン行事」のユネスコ無形文化遺産登録と全国植樹祭開催を機に、たてもんを地元産材でつくることできるよう「たてもんの森」を学びの森天神山交流館敷地内に整備(杉、ヒノキ等を植樹)し、見守り、育てながら、海と山をつなぐ文化を育む取り組みを開始します。 ◆平成30年に米騒動発祥から100年を迎えることから、発祥の地といわれる由縁や米騒動の歴史的な意義を改めて理解・認識し、これを未来に向けて保存・継承していきます。平成29年度はイベントを実施し、平成30年度は記念事業を実施します。また、市民団体が制作中の米騒動に関する映画が平成30年7月上映予定であることから、その制作やPR活動などを支援していきます。 ◆市民が郷土の自然に対して理解を深めることができるよう、平成30年度末までの市史「自然編」刊行に向けて取り組んでいます。</p>

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆松倉城跡の国史跡指定に向けて、土地所有者の同意などの課題を整理すること。 ◆ユネスコ無形文化遺産に登録された「タテモン行事」の保存・継承のため、担い手確保や後継者育成等の具体策を検討すること。 ◆米騒動100年記念事業の実施や映画制作への支援などを通じて、歴史的意義の周知・発信に取り組むとともに、貴重な財産である米倉の保存・活用策について引き続き検討すること。
<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆松倉城跡の国史跡指定に向けた取組みを推進します。 ◆ユネスコ無形文化遺産「タテモン行事」の保存・継承を図るため、担い手確保や後継者育成に取り組めます。 ◆米騒動100年に向け、その歴史的意義の周知・発信に取り組むとともに、米倉の保存・活用策について検討します。